

## 中央大学 2026 年度一般選抜【出題の意図】

試験日：2026 年 2 月 12 日

学 部：法学部

科 目：国語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

一

法学部生は抽象度が高い語彙を含む教科書を読みこなす必要があります。難しい語彙を含む文章であってもその大意を把握しながら読み進める国語能力が求められます。その能力を試すために問題文を選びました。高校で自主的な読書などを通じて語彙を増やす努力をしてきた諸君ほど正解しやすいように設題しました。

問三（記述問題）は、本文中の該当箇所を抜き出すのではなく、本文全体の趣旨を読み取り、自分の語彙で内容をまとめて説明する能力を試す問題です。単に本文から抜き書きして貼り合わせたのでは正解にならないように設題しました。高校の新課程では自分の言葉で説明する能力を伸ばすことが重視されており、その到達度を測る問題でもあります。公開された問三の模範答案はあくまで一例であり、他にも答え方はあり得ます。

二

法学部での学びにおいては、海外の文献を日本語訳したものに当たる機会も少なくありません。また、様々な事象・意見が入り組んだ文章において、著者の見解を的確に把握する能力も求められます。このような観点から、問題文を選びました。普段から新聞や論説文などを丁寧に読む習慣があると、比較的理解しやすかったはずです。

問四（記述問題）は、指定された 2 つの語句を用いて、設題への解答を簡潔にまとめる能力を評価するためのものです。本文の内容を正確に理解したうえで、指定された 2 つの語句それぞれに関する内容を過不足なく抽出し、意味がつながるよう組み立てることが必要です。

三

法学部には日本法制史や日本近代政治史など文語文を読む授業があり、また戦前の法律学・政治学の学術論文や判決文は文語文で書かれているため、法学部生には古文の基本的な読解能力が求められます。古文の基礎的な語彙や文法の理解を踏まえ、本文の内容を正確に読み取る能力を試す問題です。